

# 第1回「淡路島観光戦略会議」議事要旨

日時：令和4年6月29日（水） 15:30～16:30

場所：淡路広域消防ビル3階 多目的ホール

出席者：藤原局長（会長）、上崎市長（構成員）、守本市長（構成員）  
門市長（副会長）、木下会長（副会長）

## 1 議事の要旨

事務局から観光戦略会議の設置及び新観光戦略（仮称）策定について、現行戦略の取組と課題を説明し、構成員による意見交換を実施

## 2 意見交換

### 【構成員】

- ・ 昨年より観光戦略室のあり方について議論してきた。分かりやすくまとめられており、事業の推進はしやすいと思う。
- ・ 策定会議委員は必要に応じて随時、委員を追加できるほうが良い。
- ・ 方向性に概ね異論はない
- ・ 観光戦略については、前回のテーマ（基本理念：日本のはじまり淡路島～わたしたちの誇るふるさと淡路 世界中から訪れたい特別な島～）も良かったが、今回もテーマ・コンセプトが大切。今回のテーマ「持続可能な観光地域づくり」を提案する（国際基準GSTCを日本版にしたJSTS-Dに従って決めていく）。
- ・ 公共交通については利便性だけでなく脱炭素の視点も必要。
- ・ 入場制限においては難しいと考えるが、特定のエリアなどにおいては必要などところもあるのではないかと思われる。
- ・ 淡路島はいままでインバウンドの受入が少なかった。大阪・関西万博やワールドマスターズゲームを控えインバウンドの受入観光整備を進めていかないと間に合わなくなる。

### 【構成員】

- ・ 実施主体は県民局、島内3市、観光協会となっているが、中長期的な取組や年間計画的な取組など重要な取組については、淡路島観光戦略会議で意見を確認して取り組んでいくことが重要だと考える
- ・ 戦略に基づいて、民間企業や団体にも要請していくことは必要だが、熱意を下げってしまうことにならないように交通整理等の匙加減は必要だと考える。
- ・ 観光戦略策定会議のメンバーについては、学識経験者・観光関連の方のボリュームを増やしてはどうか。

### 【構成員】

- ・ 策定会議委員はもう少し枠を広げておいたほうが、幅広い意見が聞けると考える（「その他」の枠を用意しておく）

### 【構成員】

- ・ 策定会議委員は「必要に応じて委員を追加することができる」という条項を加える
- ・ 策定会議委員の人選は事務局・県民局に一任とする
- ・ 本日は一旦意見収集のみとし、いただいた意見は策定会議でも議論をしていく。

以上